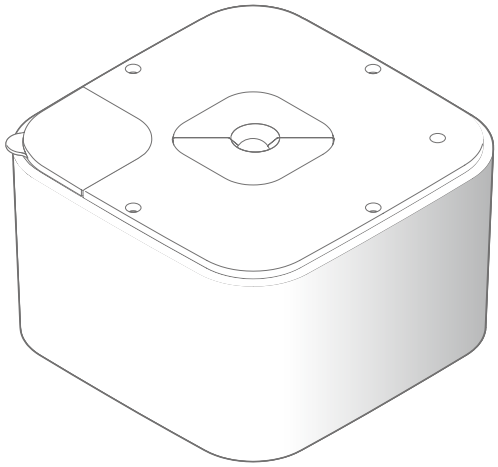
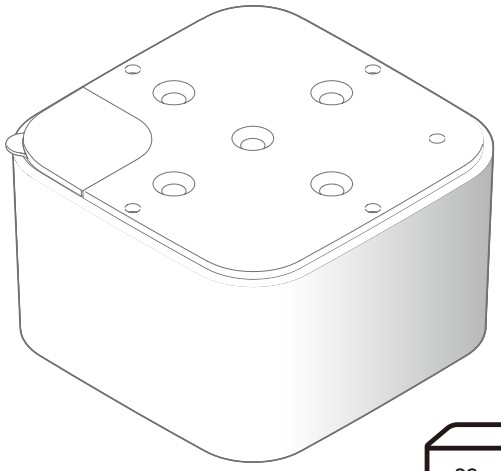
ホームハイポニカMASUCO
取扱説明書





MASUCO

安全上のご注意 ※必ずお守りください

ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
※使う人や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明しています。
「図記号の説明」は、図記号の意味を示しています。

表示の説明

⚠警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容
⚠注意	軽症を負うことや、家屋、家財などの損害が発生する内容

図記号の説明

- 中の絵と近くの文で、禁止(してはいけない事)を示す
- 中の絵と近くの文で、指示(しなければならない事)を示す
- 中の絵と近くの文で、注意を示す

⚠警告

循環ポンプ

必ず守る

- ●電源は交流100Vのコンセントを使用する。
火災、感電、けがの原因になります。
- ●電源プラグの刃やコンセントの汚れ、ほこりは定期的に乾いた布で拭き取る。
火災の原因になります。
- ●電源プラグは根元まで確実に差し込む。
感電、ショート、発火の原因になります。
- ●屋外で使用の場合、コンセント、延長コードは防水カバーのついた屋外用を使用する。火災、漏電の原因となります。

手ぬれ禁止

- ●電源を入れたまま、液肥槽内に手を入れたり、循環ポンプに触れない。
感電の原因になります。
- ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電、けがの原因になります。

分解禁止

- ●インペラーユニット以外の分解、修理、改造をしない。
火災、感電、けがの原因になります。

液体肥料

混ぜない

- ●ハイポニカ液体肥料と石灰硫黄剤を混ぜない。
有毒ガスが発生する恐れがあります。

⚠注意

循環ポンプ

空回し禁止

- ●空気中での空運転はしない。水中専用の循環ポンプの為、誤動作、故障の恐れがあります。

電源プラグを抜く

- ●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く。
感電やショートによる火災の原因になります。
- ●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない。感電やショートによる火災の原因になります。

設置

室内栽培

- ●室内にMASUCOを設置する場合、床を保護するためMASUCOの下に敷物を敷く。また液肥水がこぼれたらしっかり拭き取ること。液肥水がこぼれたまま放置すると床材を傷める原因になります。

液体肥料

禁止

- ●A液とB液を原液のまま混ぜない。
必要な肥料成分が結合して沈澱します。
- ●お子様の手の届く場所で保管しない。誤飲する恐れがあります。
- ●直射日光や高温の場所で保管しない。
成分が劣化または変性の恐れがあります。

取り扱い、用途について

禁止

- ●突風が発生しやすい場所や、常に風が強く吹いている場所には設置しない。
横転したり、落下して破損する恐れがあります。
- ●高温になる場所に設置した場合、マルチパネルや補水口カバーの上に長時間モノを置かない。マルチパネルや給水口カバーが変形、破損する恐れがあります。
- ●高温多湿のところに保管しない。
変形したり、カビが発生する原因になります。
- ●容量以上の水を入れない。水漏れの原因になります。
- ●海外では使わない。国内専用品です。やけど、発火の原因になります。

その他注意事項

- ●日光の当たり続ける場所に長期間置いた場合、紫外線により樹脂劣化し、表面に白い粉がふきだします。樹脂の劣化が進み、マルチパネルに穴があいたり、破損したらお取替えください。
- ●日光により、栽培槽、マルチパネル等の色が黄変したり、変色します。
- ●液肥水が日光に当たったままになると、水中に藻が発生しやすくなります。

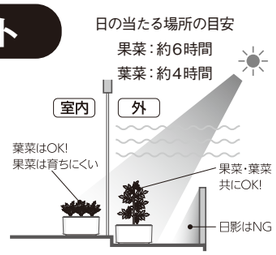
設置場所　条件

設置するポイント

☑平らな場所

☑日の当たる場所

☑風通しの良い場所



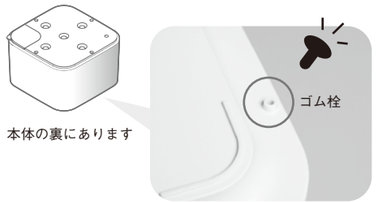
☑給液しやすい向きに

給液口を奥にすると
葉が育ってきた時に
給液しづらくなります。

☑ゴム栓を確認（雨水抜きの対策）

屋外に設置する場合…　ゴム栓をとってください
※ゴム栓は大切に保管ください

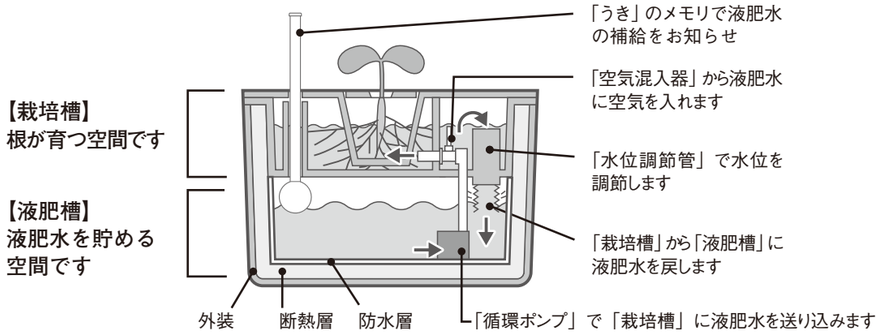
室内に設置する場合…　ゴム栓を付けたまま設置
してください



※室内で水抜きをする場合、MASUCO の下にビニールシートとタオルを敷いて床が濡れないようにしてください

MASUCO の構造

こだわり設計の二層構造　ポンプで液肥水を循環させて、栽培槽に十分な肥料と空気を送り込みます



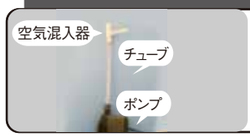
同梱物

【仕様】

■電源 / 交流 100V 50-60 Hz ■消費電力 /8W ■サイズ / 約 40cm×39.6cm×26.3cm ■容量 / 約 20ℓ ■電源コード長さ / 約 4m ■材質 / 本体 ●栽培槽 、空気混入器、栽培鉢、鉢カバー、支柱枠、うき、仕切り板：ポリプロピレン●果菜・葉菜用マルチパネル、給液口カバー、液肥槽：ポリプロピレン、スチロール樹脂●ゴム栓：EPDM●循環ポンプ：ABS 樹脂、ポリプロピレン、ステンレス鋼、磁石●チューブ：塩化ビニル樹脂、ポリプロピレン●水位調節管：ABS 樹脂●果菜・葉菜用培地：ポリウレタン ●液体肥料：A・B 液ともラベルに記載

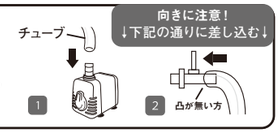
組み立て

⚠注意　組み立ての際、手を傷つけないようご注意ください。



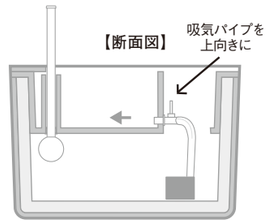
❶ チューブと循環ポンプ、空気混入器をつなぐ

チューブと空気混入器を写真のように取り付けてください。
チューブを水にぬらすと差し込みやすくなります。

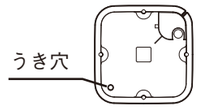


❷ 循環ポンプを液肥槽内にそのまま入れ、空気混入器を栽培槽の穴に差し込む

※循環ポンプの吸盤は使わないので、そのまま入れてください。
※電源はまだ入れないでください。
　液肥水投入後に電源を入れてください。

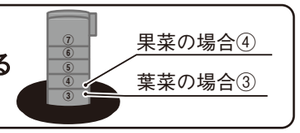


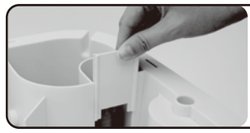
❸ うきをセットする



栽培槽の下から、
穴に差し込みます。

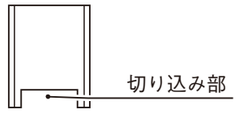
❹ 水位調節管を差し込み、目盛りを合わせる

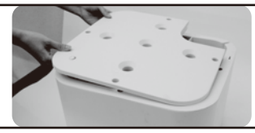




❺ 仕切り板を入れる

切り込み部が下になるようにセットしてください。



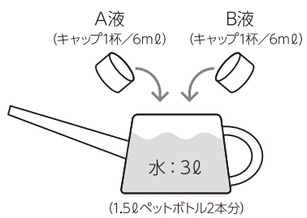


❻ 野菜に合わせてマルチパネルをセットする

液肥水の作り方 & 使用方法

液肥水の作り方

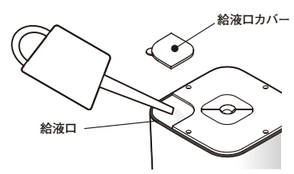
じょうろに３ℓの水、液体肥料A･B液をキャップ１杯ずつ入れて、液肥水を作ります。
(500 倍に薄めます)



Point
原液だけで混ぜると化学反応で
成分が結晶化してしまうので
水の中へ原液を投入してください。

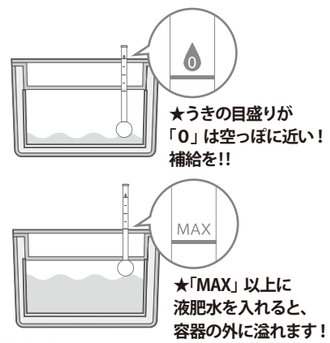
一番最初の給液の仕方

①給液口からゆっくり液肥水を投入してください。
②まず９ℓ入れてください。
③循環ポンプの電源コードをコンセントに差して運転させてください。
④栽培槽にある程度液肥水がまわったら、さらに９ℓの液肥水を入れてください。
⑤給液口カバーを取付けてください。



日々の液肥水の入れ方

栽培を続けると、野菜は液肥水を吸収するため、液肥水の補給が必要になります。こまめに液肥水を補給してください。



補給時チェック！！
根が育ってくると、水位調節管に根が入り込み、水漏れの原因になります。
こまめにチェックして根を出してください。

野菜を育てる

栽培については別冊「栽培のしおり」をよくお読みください

水位の調節

●根が空気中からも酸素を取り込めるよう水位調節管を使って、栽培槽の水位を下げてください。栽培中は目盛りが見えづらいので、押し込むときの引っかかりの感覚で確認してください。野菜によって根が育つ時間が違うため、根の状態を見て水位を下げてください。

水位調節管の目盛りの位置	1日目	10日目	17日目	24日目以降
果菜（トマト）の場合	④	⑤	⑥	⑦

※葉菜の場合は通年③

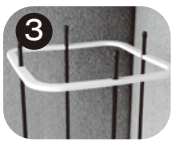
果菜の誘引の仕方

【用意するもの（ホームセンター等で購入ください）：支柱4本、ビニールひも】

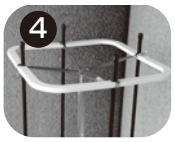
20 cm くらい伸びたら、茎を誘引してあげましょう！

❶ 長さ120cm、太さ11mm(Φ11)までの支柱を4本選ぶ

❷ 支柱4本立てる



❸ 支柱枠を上から5cmの位置につける



❹ 支柱枠にビニールひもを十字に結んで、センターから垂らして誘引する

仕切り板の取り外し

根がマット状に広がったら、仕切り板を外してください。

仕切り板

メンテナンス

栽培終了時の手順

① 循環ポンプの電源を抜き、野菜を撤去する

撤去方法　葉菜　培地ごと引き抜く。　果菜　鉢カバーを外し、栽培鉢と根の間をはさみで切り、栽培槽から根を取り出す。※栽培鉢は壊れるまで、繰り返し使うことができます。

② 液肥水の排出

バケツなどを準備し、循環ポンプを取り外して灯油ポンプなどを使って液肥槽の液肥水を取り出す。排出した液肥水は土栽培や花壇の水やりにご使用できます。

③ 各部を水で清掃し、乾燥させる

循環ポンプは分解して掃除しましょう（インペラーユニット部）

④ 栽培しない場合は、直射日光、風雨の当たらない場所に保管する

循環ポンプの掃除

栽培終了時、または循環ポンプが作動しない時は、分解して掃除してください。

1 カバーをはずす
→ゴミがついていたら取り除きましょう！

2 キャップを回し外す

3 ピンセット等でインペラーユニットを取出す

インペラーユニットが固着している または、結晶がついている場合

市販の食酢に浸けて結晶化した肥料を溶かしましょう。
本体を30 分～1時間浸けた後、水洗いをして組み立てましょう。
溶けない場合、さらに1晩つけてください。
※消耗品ですので、改善しない場合は新品をお買い求め下さい。

故障かな？と思ったら

こんな時	調べるところ	処理の仕方
液肥水を汲み上げない	水位調節管に根が詰まっていませんか？	水位調節管から根を出してください。
	チューブが循環ポンプから外れていませんか？	チューブを循環ポンプに接続しなおしてください。
	電源プラグがコンセントから外れていませんか？	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んで下さい。
	循環ポンプの吸水部に根やゴミが詰まっていませんか？	電源プラグをコンセントから外し、循環ポンプのインペラーユニット部分を掃除してください。
	循環ポンプのステンレスシャフトに液体肥料が固着していませんか？	電源プラグをコンセントから外し、循環ポンプのインペラーユニット部分を掃除してください。
許容量なのに水が漏れる	液肥槽の水位が高くないですか？	「うき」「MAX」以上に液肥水を入れると容器の外に溢れます。液肥槽の水位を低くしてください。
	水位調節管の水位の高さは高くないですか？	本説明書の中面「組み立て」❹の水位調節管の水位をご確認下さい。

お問合せはこちらまで　0800-888-8787　ハイポニカお客様窓口　通話無料
ホームページQRコード　検索　ホームハイポニカ
製造元　協和株式会社ハイポニカ事業本部
大阪府高槻市郡家新町 85 番 1 号